

第60期

KYORITSU レポート

2017年7月1日→2018年6月30日



トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは「FA技術とIoTの融合分野であるインテリジェントFAシステム市場に開発型ビジネスを通じ、豊かな未来社会へ貢献し、株主・顧客・社員及びその家族、そして関連する全ての会社や人々と将来の希望を共有し心豊かで風通しの良い企業風土を形成する」という経営理念の下に、主として製造業における製造現場及び研究開発部門を対象に、IoTとFA技術により開発・生産の省力化・能力向上・コストダウンの実現等トータルシステムの効率化に貢献して参りました。

株主の皆様におかれましても、今後共、何卒倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
西 信之

当期の概況について

絶好調な米国経済に牽引される世界経済好況の恩恵を受け、さらに為替動向も落ち着いていたことから企業業績が拡大し、設備投資も活性化される等、大変好調に推移しました。

当社グループとしましては、守備範囲としているIoT技術とFA技術の融合領域であるインテリジェントFA技術において、IoTを始めとしたイノベーションが活性化し新規のビジネスエリアが急速に拡大しており、また人手不足が深刻化する環境下での省力化投資によるロボットに対する需要拡大、さらにはロボットでの作業範囲を広げるAIの進展等、当社グループには非常に強い追い風が吹きました。また、世界経済の拡大の波に乗り、海外で発生する新規需要を積極的に取り込み、15年

以上前から整備・拡大してきた海外ネットワークを活かした海外ビジネスも拡大の一途を辿りました。

これらの結果売上高、営業利益、経常利益は過去最高の金額となりました。

次期の見通し

次期の連結業績見通しにつきましては、売上高は前期比2.9%増の340億円を予想しており、営業利益は前期比1.9%増の17億50百万円、経常利益は前期比0.8%増の18億40百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比4.7%増の10億70百万円と全ての項目において過去最高の金額を予想しております。

連結業績ハイライト

国内外の輸送機器製造業の生産ラインや試験装置などの設備投資需要が好調に推移し売上高、経常利益は過去最高を更新!

売上高

33,027百万円

前期比 6.7%増



経常利益

1,824百万円

前期比 25.8%増



親会社株主に帰属する当期純利益

1,021百万円

前期比 4.1%減



【FA業界における「One Stop Shopping」の実現へ 「New Producer」としての付加価値創造企業へ】

Topics① R&Dセンター



IoTやAI、ロボットなどの先端分野と半導体基板検査装置を開発する研究開発部門を集約しグループ全社員の1割に当たる120人が従事するR&Dセンターが2017年7月3日に本格稼働。

R&Dセンター概要

敷地面積：3,000平方メートル

延べ床面積：2,400平方メートル

Topics② 3Dもぐう

従来の当社販売のシステム内にストックされる施工時データをもとに、パソコン上での3次元図化機能を追加し、より高度な施工情報の見える化を実現。

これまで現在位置や進行方向のズレなどを平面のグラフと数字だけで表示していたが、より見やすく直感的に状況を把握できるシステムを開発。



Topics③ ユニレリーフ

ユニレリーフ (UNI RELIEF)

魚をセンサとした水質連続監視装置（魚が危険を知らせます）



ユニレリーフ2槽式

警報の信頼性向上と省スペース、省コストを実現



EQウォータ

用水・排水（放流水）の連続監視にオプション：カメラで遠隔監視可能、PC接続で長期データトレンド&異常時メール送信



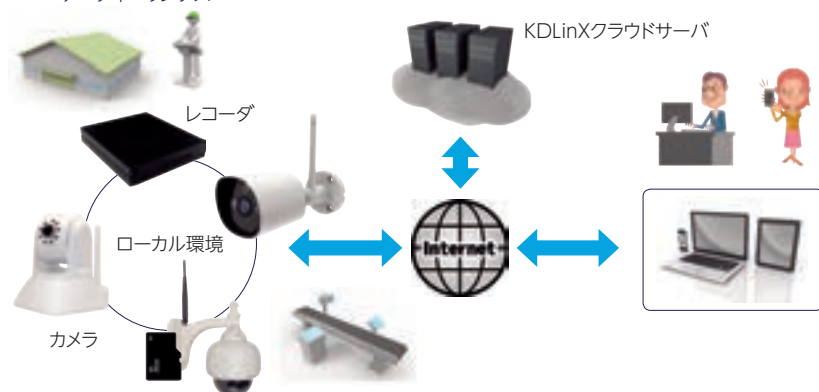
Topics④ ケーディーリンクス

2014年の発売から5年目を迎え、クラウドシステムにおけるKDLinXの認知度が年々高まっている中、カメラは価格や性能の異なる5種類で、自動ネット接続や赤外線撮影などの機能を備える。また、130万画素のクラウド+レコーダで販売・新製品として以下の2シリーズを発売

- ①400万画素の高画質モデル（ユーザからの高画質化への要求へ対応したモデル）
- ②低価格モデル（カメラの導入コストのみで月額利用料金がかからない手軽なモデル）

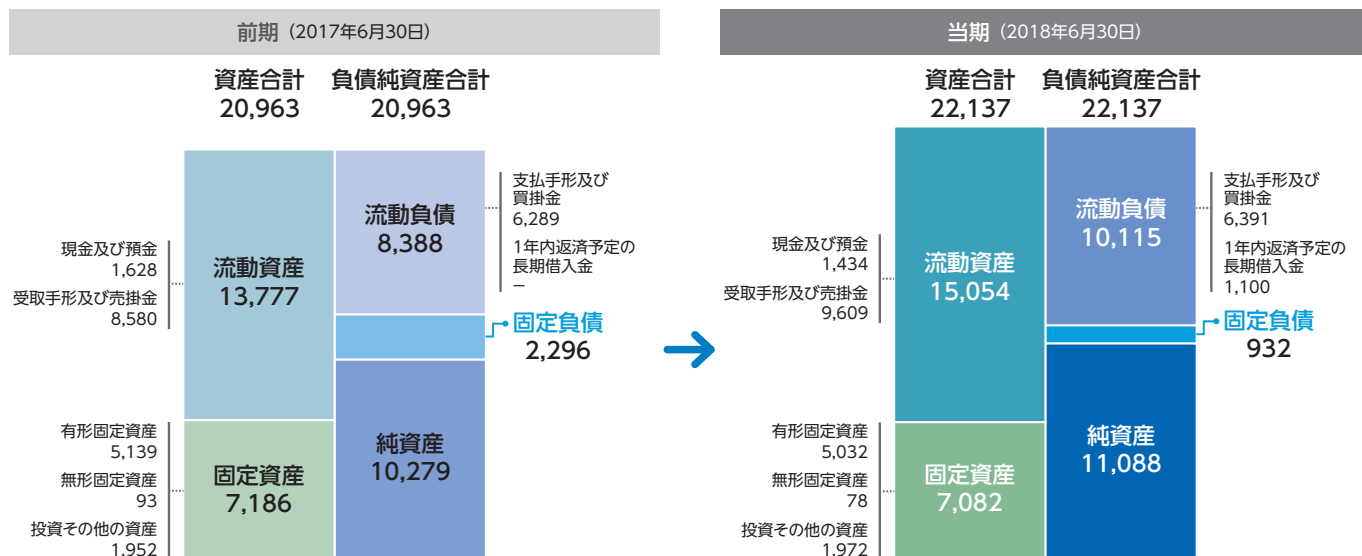


クラウド型ネットワークカメラ

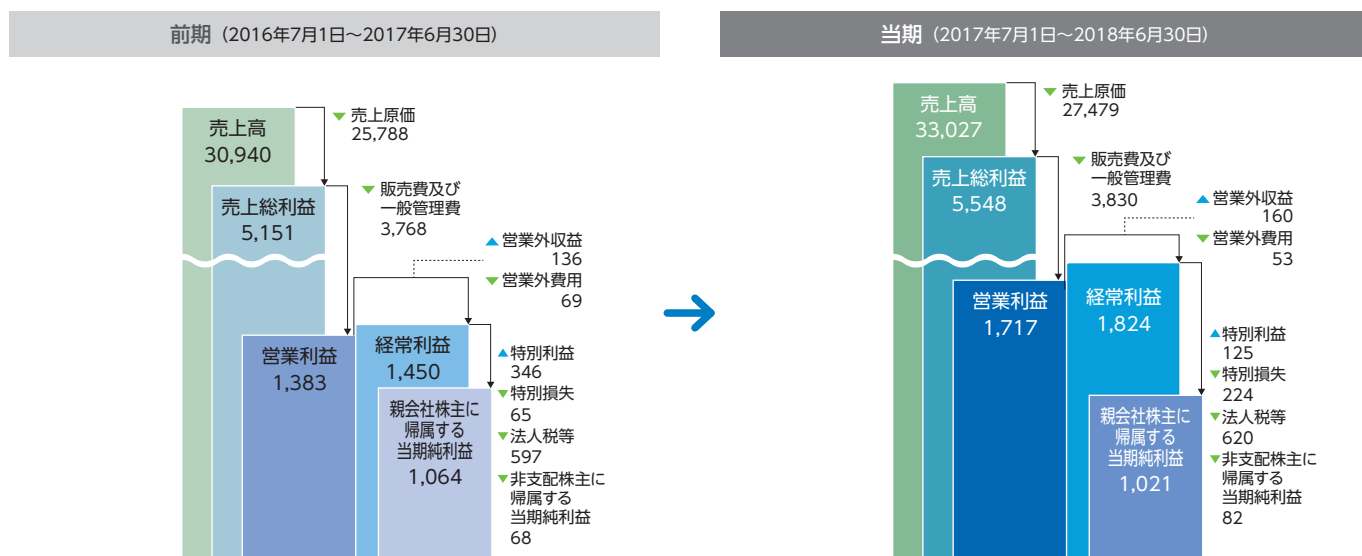


連結財務諸表

連結貸借対照表 (単位：百万円)



連結損益計算書 (単位：百万円)



連結包括利益計算書 (単位：百万円)

科目	前期 2016年7月1日~ 2017年6月30日	当期 2017年7月1日~ 2018年6月30日
当期純利益	1,133	1,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	274	△36
その他の包括利益合計	274	△36
包括利益	1,407	1,068
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,322	994
非支配株主に係る包括利益	85	73

Point ①

当連結会計年度末の資産の合計額は、前連結会計年度末に比べ11億733百万円増加し、221億37百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金と電子記録債権を合わせた売上債権が11億98百万円増加したこと等によるものです。

負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ3億64百万円増加し、110億48百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務が3億74百万円増加したこと等によるものです。

純資産の合計額は、前連結会計年度末に比べ8億9百万円増加し、110億88百万円となりました。これは主として親会社株主に帰属する当期純利益等により利益剰余金が8億40百万円増加したこと等によるものです。

Point ②

セグメント別概況

インテリジェントFAシステム事業では、自動車を中心とした家電業界向けの検査装置ビジネスが好調だったこと、人手不足に対処するため省力化投資が活発化しロボットビジネスが伸張したこと、2年前から開始した水質検査ビジネスが急拡大していること等より売上高は121億57百万円（前期比8.7%の増）、営業利益は7億90百万円（前期比29.1%の増）と増収・増益になりました。

IT制御・科学測定事業は、当連結会計年度においては製造業の客先が製造ラインへの投資を活発に行ったことからメカトロ取引を推進する子会社や輸送機業界向けコンポーネント取引を推進する子会社等の業績が好調に推移しました。これらの結果、売上高は208億28百万円（前期比5.8%の増）、営業利益は12億81百万円（前期比16.0%の増）と増収・増益になりました。

会社概要

社名	協立電機株式会社
設立	1959年2月
資本金	14億4,144万円
本社所在地	静岡県静岡市駿河区中田本町61番1号
社員数	632名(連結) 370名(単体)

株式の状況

発行可能株式総数	10,000,000株
発行済株式の総数	4,369,200株
1単元の株式の数	100株
株主数	1,429名

営業拠点

本社	〒422-8686 静岡県静岡市駿河区中田本町61-1 TEL<054>288-8888 FAX<054>285-1105
R&Dセンター	〒422-8686 静岡県静岡市駿河区中田本町61-2 TEL<054>288-8890 FAX<054>285-1106
テクニカルセンター	〒422-8686 静岡県静岡市駿河区中田本町63-25 TEL<054>288-8855 FAX<054>285-1105
東京支社	〒112-0012 東京都文京区大塚3-11-6 5F TEL<03>5976-5500 FAX<03>5976-5522
富士支店	〒417-0047 静岡県富士市青島町270番地 TEL<0545>55-5500 FAX<0545>55-5515
浜松支店	〒435-0007 静岡県浜松市東区流通元町13-7 TEL<053>421-3500 FAX<053>421-3320
関西支店	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-4-27-501 TEL<06>4861-1501 FAX<06>4861-1502

株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
期末配当金受領株主確定日	6月30日
中間配当金受領株主確定日	12月31日
定時株主総会	毎年9月
株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。公告掲載URL http://www.kdwan.co.jp/ (ただし、電子公告によることが出来ない 事故、その他やむを得ない事由が生じた ときは、日本経済新聞に掲載して行いま す。)

(注) 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、
2017年8月14日付にて上記の通り変更しております。

役員

代表取締役社長	西 望 月 信 之
取締役	松 下 国 雄
取締役	瀬 本 保 範
取締役	大 石 勝 久
取締役	藤 嶋 善 彦
取締役	河 合 健 一
常勤監査役	田 尻 博 比 古
常勤監査役	池 上 徹
監査役	伊 藤 喜 代 次
監査役	西 光 世

- ・仙台営業所・宇都宮営業所・つくば営業所
- ・神奈川中央営業所・御殿場営業所・沼津営業所
- ・静岡営業所・島田営業所・袋井事業所
- ・湖西営業所・豊橋営業所・三河営業所
- ・名古屋営業所・高岡事業所・神戸営業所
- ・福岡営業所・熊本営業所・鹿児島営業所
- ・本社工場
- ・富士サービスセンター・富士サポートセンター
- ・相模原事業所
- ・名古屋テクニカルセンター

WEBサイトのご案内

詳しいIR情報は当社ホームページにて掲載しています。



協立電機

検索

<http://www.kdwan.co.jp/>



この報告書は、環境に優しい
植物油インキを使用して印刷
しています。